

## 岐阜の地で「全力」



開会式で選手宣誓する石田選手（右から2人目）  
＝岐阜市内のホテルで

### ジャパンパラ陸上開幕

県内初開催となる、国内最高峰の障害者の陸上スポーツ大会「ジャパンパラ陸上競技大会」の開会式が十九日、岐阜市内のホテルであった。

日本障がい者スポーツ協会の主催。二十、二十一日、長良川競技場で男子十種目、女子十三種目を行う。ドイツ、オーストラリア、イタリア、カナダから招待選手も出場し、まもなく開幕まで一年となる東京パラリンピックの前哨戦としても注目される。

開会式では、100歳と400歳に登場する石田選手（愛知学院大二年）

各務原市が「岐阜の地で海外選手とともに、全力で競技することを誓います」と選手宣誓。その後、有力選手が記者会見し、前橋市で開かれた昨年の大会で、走り幅跳びの世界記録を記録したドイツのマルクス・レーム選手が「岐阜でも世界記録を打ち立てられるように頑張りたい」と意気込みを語った。（高橋貴仁）